

令和5年度 保育所の自己評価

④保育所の課題を知り、課題解決の具体的方法を考える。

令和5年度中に実施したこと

- ・誕生会の該当児を年度当初に年間予定表に記入
- ・有休の前倒し付与（常勤は年度当初に5日間、全職員の有休付与日を4月と10月に前倒し）
- ・出生時育休制度（産後パパ育休）（育児介護休暇規則）
- ・育児休業の分割取得（育児介護休業規則）
- ・土曜日保育の希望を1週間前に締め、出勤保育士の数を定め、その週中に振休をとる。
- ・再生可能エネルギーの促進のため、電気の業者をENEOSでんきから生活クラブエナジーへ
- ・園内研修に新人研修を入れる。1年間の流れ、月末までにやる事など。
- ・家庭紹介カードをクリスマス会に合わせて導入

今後考えたいこと

- ・月ごとの予定は2カ月前にほしい。
- ・紙オムツの処分費が補助金で出るようになったら、事業系ごみの回収を業者に頼む。
- ・園内研修で話し合いたいテーマを2人の主幹が毎月提出する。
- ・遊びの延長で練習できる運動会にするには？
- ・園のたよりとアンケート結果は紙で配布
- ・退職金規程の整備
- ・個人別育成、研修計画、キャリアパス（長期的な展望）相互確認
- ・病気休暇の導入
- ・献立写真をインスタにアップ
- ・BCP（事業継続計画）の策定
- ・保護者会費の使いみち、子どもへのプレゼント以外、幅を持たせる（義援金、防災）
- ・運動会の総練習井尻小1.5hでは厳しい。2hほしい。コンセントBOXを空けてもらってよかった。
- ・スマホは私物に手当を払うのではなく、事業所用を支給
- ・OJT（新入社員教育係）の導入
- ・脱穀にばら保護者が来るのは、年齢的に無理